

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：三貫清水の会

20A-20

代表者：代表 安藤 勝

URL : <http://sanganshimizu.o.oo7.jp/>

1. 活動が必要とされた状況

三貫清水の斜面林では埼玉県の蝶に指定されているミドリシジミが自然発生していたが、2006 年以来ミドリシジミは確認されていない。ミドリシジミはハンノキを食草としているが既存のハンノキは老木のため、繁殖するためにはハンノキの若木が必要となる。2015 年 11 月にハンノキの若木 30 本を植樹し、ミドリシジミの発生のための環境を構築したが、ハンノキおよびその他の植物、昆虫の適切な生育のため環境整備を行う必要がある。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

毎月第 2 日曜日を活動日としているが、写真のように毎回小学生も含めて約 30~40 人が参加し、草刈りや清掃の作業を行っている。



助成による成果として、2017 年 4 月に捕虫網を購入し、棲息する昆虫の確認に使用している。また、2017 年 11 月チェーンソーを購入した。予想通りのパワーがあり、シュロの伐採や立ち枯れの木の切断に活用している。2018 年 2 月には小型のノコギリを 10 挺購入し、アオキ等常緑樹の伐採、倒木の枝の細断に使用している。



3. 活動の成果

植樹後、ハンノキは順調に成長し、昨年はハンノキハバチの幼虫を確認できた。今後も引き続き成長をしていくよう見守っていく。

4. 今後に残された課題

目標であるミドリシジミの発生は 2017 年には確認できなかった。荒川河川敷の三又沼ビオトープでの棲息を確認しているが、当地区とは 3 km ほど離れている。ミドリシジミのメスは活動が不活発で、ここから飛来してくることはあまり期待できない。そのため人為的な移設も選択肢として育成方法を研究し、2020 年あたりの復活を目標としたい。